

- 問1 19世紀末から20世紀前半にかけての、日本による朝鮮半島への進出や支配の過程を古い順に並べたとき、3番目にあたる出来事はどれですか。
(2022年 福島県公立入試 類似)
- 三・一独立運動の展開
 - 韓国併合による朝鮮総督府の設置
 - 伊藤博文の初代統監就任に象徴される韓国の保護国化
 - 甲午農民戦争（東学党の乱）の発生
-
- 問2 1870年代から1880年代にかけて展開された「自由民権運動」の流れについて、政治的な背景や仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。
(2021年 埼玉県公立入試 類似)
- 明治十四年の政変によって大久保利通が政府の実権を握ったことで、板垣退助や大隈重信は政党を結成して武力蜂起の準備を始めた。
 - 伊藤博文がドイツ（プロイセン）の憲法を調査しに渡欧したことに反発し、板垣退助は天皇親政を求めるための新しい政党を組織した。
 - 政府が10年後の国会開設を約束したため、板垣退助は立憲改進黨を、大隈重信は自由党をそれぞれ結成して政府への協力を表明した。
 - 板垣退助による建白書の提出を機に、武力ではなく言論によって国会の開設や憲法の制定を求める運動が全国に広まった。
-
- 問3 明治時代において、日本が欧米諸国との不平等条約の改正交渉を進めるにあたり、立憲国家としての法制や体制が整ったことを示すことになった出来事の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。
(2021年 宮崎県公立入試 類似)
- 学制の制定と殖産興業の推進
 - 大日本帝国憲法の発布と帝国議会の開設
 - 徴兵令の布告と地租改正の実施
 - 廃藩置県の実施と版籍奉還
-
- 問4 1881年に明治政府が「国会開設の勅諭」を出したことを受け、将来の国会開設に備えて結成された、日本最初の政党の名称とその党首となった人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2022年 岩手県公立入試 類似)
- 憲政党：大久保利通
 - 立憲改進黨：大隈重信
 - 立憲政党：福地源一郎
 - 自由党：板垣退助
-
- 問5 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約が締結された際、日本では日比谷焼打事件をはじめとする激しい抗議活動が各地で発生しました。当時の国民がこれほどまでに条約内容に不満を抱いた背景として、日清戦争との比較から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。
(2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- 日清戦争を大幅に上回る戦費や戦死者を出し、国民が多大な犠牲を払ったにもかかわらず、ロシアから賠償金を得られなかったため。
 - 日清戦争時とは異なり、講和の仲介に入ったアメリカに対して多額の謝礼金を支払う必要が生じ、国民にさらなる増税が課されたため。
 - 日清戦争で獲得した遼東半島を再びロシアに返還することが条件に含まれており、国民の領土獲得に対する期待が裏切られたため。
 - ロシアが韓国（大韓帝国）に対する日本の指導権を一切認めず、日本の安全保障が日清戦争前よりも不安定になると危惧されたため。
-
- 問6 1886年、和歌山県沖でイギリスの貨物船が沈没し、日本人乗客全員が水死した一方で、船長を含むイギリス人乗組員は全員救助されるという事件が起きました。この「ノルマントン号事件」において、イギリス人船長が日本の法で裁かれず、イギリス側の領事による裁判で軽い罰金刑のみとなった原因は、不平等条約におけるどのような権利が認められていたためですか。
(2021年 佐賀県公立入試 類似)
- 日本国内で外国人が犯した罪を、その国の領事が自国の法で裁く「領事裁判権」
 - 国民が裁判に参加して有罪が無罪かを判断する「陪審制」
 - 日本政府が外国人の居住や営業の自由を制限できない「居留地制度」
 - 日本が自国の輸入品に対して、自由に関税をかけることができない「関税自主権の欠如」
-
- 問7 19世紀後半から20世紀半ばまでの日本の歴史において、日英同盟が締結された1902年から、シベリア出兵や米騒動が起きた1918年までの間に、日本の領土に関して行われた出来事として正しいものを次の中から選んでください。
(2023年 島根県公立入試 類似)
- 1875年に樺太・千島交換条約を締結し、千島列島を日本領とした。
 - 1905年に閣議決定に基づき、竹島を島根県に編入した。
 - 1945年にポツダム宣言を受諾し、北方領土がソ連（ロシア）に占有された。
 - 1885年に現地調査を行い、尖閣諸島が他国の領土でないことを確認した。
-
- 問8 18世紀後半にイギリスで始まった産業革命と、その後の交通手段の変化について述べた文として、背景や影響を正しく説明しているものはどれですか。
(2024年 茨城県公立入試 類似)
- 蒸気機関の改良が動力源に革命をもたらし、蒸気機関車の実用化によって陸上輸送の速度と量が劇的に向上した。
 - シルクロードを経由した絹の輸入が急増したため、内陸部での運搬を効率化させる目的で蒸気機関車が発明された。
 - ポルトガルやスペインによるアメリカ大陸到達に対抗するため、イギリス政府が国策として蒸気機関を軍事利用した。
 - 大航海時代の到来によって帆船の技術が極限まで高まり、化石燃料を使用しない環境に優しい輸送網が完成した。
-
- 問9 明治政府は、欧米諸国と対等な立場を築き、近代国家としての国際的地位を確立するために条約改正に尽力しました。1894年、日清戦争の直前にイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、長年の課題であった領事裁判権の撤廃に初めて成功した外務大臣は誰ですか。
(2022年 岡山県公立入試 類似)
- 小村寿太郎
 - 陸奥宗光
 - 井上馨
 - 大隈重信
-
- 問10 19世紀から20世紀にかけてのアフリカ大陸の状況を説明した文として、正しいものはどれですか。
(2018年 千葉県公立入試 類似)
- アフリカ東部の「アフリカの角」に位置する国々は、すべてドイツの保護国となった。
 - すべてのアフリカ諸国は、第一次世界大戦が始まるまでにイギリスかフランスの植民地となった。
 - エチオピアとリベリアの2か国のみが、植民地化を免れて独立を維持していた。
 - エチオピアはインドと同じように、非暴力不服従の運動を展開して独立を守った。
-
- 問11 明治政府が「富国強兵」のスローガンのもと、西洋の新しい機械や技術を日本に広めるために自ら経営した、国内産業の近代化の手本となる工場の名称を選びなさい。
(2019年 広島県公立入試 類似)
- 官営模範工場
 - 財閥系工場
 - 指定保稅工場
 - 藩営工場
-
- 問12 ポーツマス条約の締結直後、日本国内では講和の内容に反対する国民によって「日比谷焼打ち事件」などの激しい暴動が発生しました。国民がこれほどまでに強い不満を抱いた主な理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2016年 和歌山県公立入試 類似)
- 韓国における日本の優越権が認められず、朝鮮半島への進出がロシアによって阻まれたから
 - 条約の仲介を行ったアメリカが、日本に対して遼東半島の返還を強く求めてきたから
 - 日本が獲得した樺太の南半分が、事前の宣伝よりも面積が狭く資源が乏しい土地であったから
 - 国民は戦争継続のために重い増税に耐えてきたが、講和条約でロシアから賠償金が得られなかったから

答え合わせ・解説

問1	答え 2 韓国併合による朝鮮総督府の設置	1894年に日清戦争のきっかけとなった甲午農民戦争が起き、その後、日露戦争を経て1905年に第二次日韓協約により韓国を保護国化し、伊藤博文が初代統監となりました。1910年には韓国併合を強行して朝鮮総督府を置き、植民地支配を本格化させました。1919年には、この支配に抵抗する三・一独立運動が起こっています。したがって、提示された選択肢の中では韓国併合が3番目となります。
問2	答え 4 板垣退助による建白書の提出を機に、武力ではなく言論によって国会の開設や憲法の制定を求める運動が全国に広まった。	明治初期、徴兵令や地租改正に反対する農民一揆や、不平士族による反乱（佐賀の乱や西南戦争など）が起きましたが、これらが鎮圧される一方で、板垣退助らによる「民権議院設立の建白書」の提出をきっかけに、言論によって政治参加を求める自由民権運動が主流となりました。1881年に政府が「国会開設の勅諭」を出し、10年後の国会開設を約束したことで、板垣の自由党や大隈の立憲改進黨といった政党が結成され、将来の議会政治に向けた準備が本格化しました。
問3	答え 2 大日本帝国憲法の発布と帝国議会の開設	明治政府は欧米諸国並みの近代国家であることを示すため法典の整備を進め、1889年に大日本帝国憲法を発布し、1890年に帝国議会（国会）を開設しました。こうした国内体制の整備が、不平等な条約の改正を進める重要な基礎となりました。
問4	答え 4 自由党：板垣退助	明治十四年の政変を経て、政府が10年後の国会開設を約束すると、自由民権運動の指導者たちは政党の結成に動き出しました。土佐藩出身の板垣退助は、フランス流の急進的な自由主義・民主主義を掲げる「自由党」を組織し、士族や豪農、農民など幅広い層の支持を集めました。一方、大隈重信が翌年に結成したのはイギリス流の穏健な改革をめざす立憲改進黨です。
問5	答え 1 日清戦争を大幅に上回る戦費や戦死者を出し、国民が多大な犠牲を払ったにもかかわらず、ロシアから賠償金を得られなかったため。	日露戦争では、戦費が約18.3億円（日清戦争の約8倍）、戦死者が約8.5万人（日清戦争の約6倍）に達するなど、国民は極めて重い負担を強いられていました。日清戦争の際には多額の賠償金を得られた経験があったため、国民は今回も賠償金による生活の立て直しや負担の軽減を期待していましたが、条約で賠償金の獲得に失敗したことが国民の怒りを招く直接的な原因となりました。
問6	答え 1 日本国内で外国人が犯した罪を、その国の領事が自国の法で裁く「領事裁判権」	幕末に結ばれた不平等条約では、領事裁判権（治外法権）が認められていました。これにより、日本国内で外国人が犯罪を犯しても日本の法律で裁くことができず、ノルマントン号事件のように日本人に甚大な被害が出た際も、外国側の領事によって不当に軽い判決が下されることが問題となりました。この事件をきっかけに、条約改正を求める世論が日本国内で急速に高まりました。
問7	答え 2 1905年に閣議決定に基づき、竹島を島根県に編入した。	日露戦争中の1905年、日本政府は国際法上のルールに基づき、他国の領土ではないことを確認した上で、内閣の閣議決定という正式な手続きを経て竹島を島根県へ編入しました。この出来事は、1902年の日英同盟締結から1918年の米騒動までの期間に含まれる、近代日本の領域画定における重要な事実です。
問8	答え 1 蒸気機関の改良が動力源に革命をもたらし、蒸気機関車の実用化によって陸上輸送の速度と量が劇的に向上した。	産業革命の重要な技術革新の一つに、ワットによる蒸気機関の改良があります。これが交通手段に応用され、ステューブソンによって蒸気機関車が実用化されたことで、それまでの馬車などとは比較にならないほど大量かつ高速な輸送が可能になりました。この変化は、原料や製品の流通を加速させ、世界経済の仕組みを根本から変えることとなりました。
問9	答え 2 陸奥宗光	陸奥宗光は、東アジア情勢が緊迫する中でイギリスとの交渉をまとめ上げ、1894年に領事裁判権の撤廃を実現しました。これには、当時の日本が万国博覧会の主催を目指すなど近代化を急ぎ、国際社会の一員として認められようとした背景が強く影響しています。なお、1911年に関税自主権の完全回復を成し遂げたのは小村寿太郎であり、陸奥宗光の業績と時期を分けて覚えることが重要です。
問10	答え 3 エチオピアとリベリアの2か国のみが、植民地化を免れて独立を維持していた。	当時のアフリカにおいて、ヨーロッパの植民地にならずに独立を維持できたのはエチオピア帝国とリベリア共和国の2か国だけでした。エチオピアは1896年のアドワの戦いでイタリア軍を破ることで独立を守り、リベリアはアメリカの影響下で建国された経緯から独立が認められていました。
問11	答え 1 官営模範工場	明治政府は、欧米諸国に対抗できる経済力と軍事力を持つための「富国強兵」を掲げました。当時の日本は民間の資本や技術が不足していたため、政府が自ら西洋の技術や機械を導入した工場を設立・経営し、日本全体の産業を近代化させるためのモデルケースとしました。これにより、全国の産業に新しい技術を普及させる狙いがありました。
問12	答え 4 国民は戦争継続のために重い増税に耐えてきたが、講和条約でロシアから賠償金が得られなかったから	日露戦争中、日本政府は膨大な戦費を調達するために国民に重い増税を課していました。当時の国民は連戦連勝の報道を受けていたため、講和によって多額の賠償金が得られ、税負担が軽減されることを強く期待していました。しかし、実際に結ばれたポーツマス条約では「賠償金なし」という結果になったため、国民の不満が爆発し、東京での暴動へと発展しました。遼東半島の返還（三国干渉）は日清戦争後の出来事です。